



NO. 578
 発行
 2006・9月20日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 守橋久仁雄
 編集責任者
 教宣部



団結をつくりあげる



第58回定期地方大会開く



第五十八回定期地方大会が九月九日十時より新潟市『トークイン新潟』で代議員・傍聴者など三十九名の出席の中、開催されました。代議員、延べ十三名の発言・討論がありました。

国鉄闘争・地域の闘い・春闘・全国キャラバンなど発言がありました。特に『安全』にかかわる職場の問題が多く出され深刻な事態になっている状況が報告されました。

労働組合の強化 再構築を

加藤副委員長・開会あいさつ



大会任務について①労働組合の強化・再構築を。弱体化が社会現象を起している。国労としての役割はまだまだ強い。運動の基本は職場闘争。

②JR不採用事件・1047名問題は出口に近い状況だ。全国大会は大同団結を勝ち取る大会。大同団結から真の団結を。そして、政府に要求し世間へ見せていく。職場から地域から団結し闘って欲しい。そのため



守橋委員長 あいさつ



①安全・安定輸送について

労働組合の役割。『いなほ』脱線事故～現在も事故調査中。特定の原因は、まだ発表されていない。JRは事故後、風速計と暴風柵を設置した。地本は緊急の申し入れをした。JRは、安全こそ第一と言っているが合理化を強行している。最大の使命として、労働組合としてチェック・告発をしていく。安全総点検＝職場での取り組み強化を。

②労働条件改善 組織強化・拡大について

労働環境の改善を～団交だけでは要求改善はならない。職場の実態が、利用者にどう影響がでるのか調べていく。西日本では～この取り組みを行い拡大があった。昇進差別・配属などの事件の一括和解が進んでいる。差別を無くす＝それが職場での拡大につながる。

20年目の闘い(1047名問題)、大同団結＝解決まで連携を強めていく。政治解決・新たな訴訟・具体的要求(雇用・年金・解決金)。全国大会で決定・確認された。宮里弁護士＝大同団結から、団結をつくりあげる。二瓶国鉄共闘議長＝個人も組織も消える。相手にすきをあたえない闘い。これを重視し、この立場を堅持していく。

③政治課題について

秋に臨時国会開会。小泉内閣への国民の怒り。憲法改悪・教育基本法など、情勢は緊迫している。国民との共同行動の強化を。

地本・団結ハイク
 見附市・大平森林公園
 10月28日(土)



発言と 全体討論



●業務関係で緊急申し入れなど実際に、事故・安全問題について団交が一年・半年近く遅れて交渉が行なわれている。この事態に、どう訴えてきたのか。第三者機関の活用も考えては。支社の対応について地本はなめられている。要求について、地本の中でしっかり議論を。今までの運動・討論の経過は？全国大会での書記長集約とスト基金の取り崩しについて、臨大を開催し議論するのか。

来賓あいさつは、社民党・枡口県連代表 共産党・武田常任委員 県春闘共闘・県労連山崎議長 交運共済・高橋所長の方々から、激励と連帯のあいさつがありました。
東日本本部は、山根執行委員から出席していただきました。



○長岡に南派出が発足した。①長距離通勤(八〇キロ) 五夜連続の会社泊で勤務(乗務員交番は十二日と八日)。予備は一・八人。年休取得実態は二十二人で平均七・三日乗務員の退職で減、労働強化。要員問題で団交。②内勤に車主の発令はどうか？

長距離通勤のためパートの増設を。現在、平均年齢は五二才。

●職場での強制転勤について早急元の職場に戻すよう訴える。上部機関に働きかけてほしい。安全問題とコンテナ車のタイヤが変磨耗で脱線した。貨車検修では制輪子に原因か調査。報告は明確になっていない。

○物販の直販を長岡市職で実施した。(三万円の売り上げ) カタログ販売より、直販の方が、はるかに素晴ら



しい。



●春闘・全国キャラバンの取組みとすみれ会の闘い・パート労働者組合は六年前に待遇改善で裁判、和解した。①期限のない雇用。②正社員並みの賃金の是正・退職金を認めさせた。地域での闘いをつくっていくことが重要。物販と直販できる体制をつくること。地域へのオルグを広めていくこと。

○安全問題と七月八日・東海道線で保線業務・線閉作業(出向)で蝕車事故が発生。安全は絶対に譲れない問題。出向について二回目の延長とJ R当局は面談時現場の実態を把握していない。J Rは出向に出すと戻すつもりは無い。病気をしないと戻れない。出向先の労働条件は厳しい実態。三年たつたらかえす実現しない。出向者が病気をしたり亡くなったりにしている。

●一建へ出向・発足当時は十四名だったが、現在は五名。越後線の状況、巡回時は修繕作業が発生する。(継ぎ目ボルト・レールボンド)。補修できる時間・要員がない。それでも良いという体制になっている。

書記長集約

関心書記長



① J R 不採用事件について

七十四回全国大会で大同団結。闘争団の要求が大会の総意。新たな訴訟は中央執行委員会判断。地位確認とこの問題だけで対立しない。大同団結を。新潟でも団結し闘争指示について全力をあげてやりきる。

② 安全問題について

安全問題に関する発言が多い。安全・安定輸送の確立に向けた闘いを。『安全集会』・十一月二十三日開催を成功させよう。支部・職協代表で、問題点について議論していく。



③ 並行在来線の闘い

直江津支部と連携を図りながら重点課題として取り組んでいく。九月十四日、北陸信越運輸局・交渉。十月十四日と十五日交流会を取り組む。

④ 平和の問題

総裁選挙と憲法改悪の動きに反動政治。国民と共通の課題に力を注いでいく。





国鉄新潟

No 578~②
 発行
 2006・9月20日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 守橋久仁雄
 編集責任者
 教宣部



発言・討論とその②

●職場の問題・要員について直江津六名・長岡六名・酒田一名(来年度二名)新潟六名が今年度退職する。新潟以外は新採の補充が無い。転勤が発生する可能性がある。直江津・酒田は仕業検査が外注へ。シニア制度・構内運転士・二名退職。部内補充。外注会社の外勤Bが減りシニア雇用(退職者二名を充当)。アスパス問題・現場長交渉問題はないと言っているが国労は全員受診した。



○並行在来線について糸魚川で学習会を開催・三市連絡会を発足。シンプジウム(来賓・上越市・商工会議所・長野ふるさと線の各代表出席。北陸新幹線開業『脇野田駅』に。直江津・高田駅は厳しい状況になっていく。人間の流れが変わる。自治体の立場で残す。

●政治課題・安全問題。水俣病・政府は判断基準について今までどおり。原因があつて、ものが発生する。防止策が立ち遅れている。調査団(学者など政府側)ここを変えていくことで政策が変えられる。

駅終点に大きな病院の建設。駅間を短くする。予算については具体的な方向性は出ていないが厳しい実態。

東日本本部 山根執行委員



①国鉄闘争・1047名問題=早期解決を。全国大会は解決を目指す。具体的要求~一日も早い解決を実現させる。取り組む課題を全力で進める。総裁選~阿部候補=憲法改悪・教育基本法改悪・消費税10%・2008年具体化・反動内容になる。早期解決~闘いについて、しっかりした腹がまえで全ての国会議員への申し入れを展開する。

②配転・昇進・バジなどの40事件の一括和解へ。全ての事件、一括和解の協議を進める。和解協議の進め方~7月下旬中断している。9月22日再開。それは、試験結果の調査~昨年からの1次試験は、1~2%アップ。全てにわたっての解決ではない。バジ事件も含む。JRへは解決金・謝罪・具体的に協議をしていく。JR側に提起する。

③合理化=地域間移動からエリア移動を提案・駅業務のあり方(団塊世代の退職)東京を中心に駅員が足りなくなる。エリア移動は公募制・本人同意。強制ではない。それによる不利益な扱いはしない。駅業務=乗降人員の少ない駅は、まるごと外注。また部分外注化。60歳以上の雇用確保の場。(JR東労組は妥結)『安全とサービス』をどう考えているのか。

④JR貨物(400億円税制特例)=国交省(5年間)へ引き続き特例処置を訴える。予算処置はこれから。政府に対して訴える。

⑤並行在来線=東北・北陸の問題。北海道へは、日本海縦貫しか残らない。



対象者について、一人個人(本人)二人家族の場合・三人他人の場合。それぞれの状況によって、考え方・受けとめ方が違う。見方を変えて欲しい。
 『安全集会』だけでなく、他に一周年企画を。安全に関して地本で他に取組むものと、支社へ交渉など再度訴えていく。
 財政担当者会議や専門の学習会の開催を。
 安全問題職場では、金があるうちには対策するが、なくなるとしない。会社の施策を改めさせる。

結・討論です



●安全問題Ⅱ越後線の乗務について
レールの状態が悪い。音と揺れが大
きい。良い時の状態を知っているか
ら、びっくりする。慣れてくると気
にならなくなる。沿線での地域住民
の苦情については、即対応するが部
内からの要請については、予算が無
いと言っただけで対応してくれない。

○長岡・南派出について、もっと機
関区と連携・連絡を密にしていきた
い。

●安全問題は合理化反対闘争。方針
書には項目が無い。合理化反対闘争
が安全問題になっている。



当面の行動

多くの参加をお願いします



★十月二十八日(土)

地本「団結ハイク」見附市
「大平森林公園」

★十一月十一日(土)

エリア本部「マラソン大会」

★十一月十二日(日)

二〇〇六年「退職者送別会」

★十一月二十三日(木)

「安全集会」

★十二月二日(土)

「年末集会」

編集後記

今回は『定期大会』特集です。
代議員の発言内容や、各代表の
方々のあいさつも、全て載せました。
文字が多く読みにくい紙面にな
たかもしれませんが、でも大会会
場へ参加できなかった組合員の皆
さんに、少しでも雰囲気を感じら
れたらと考えました。
少し長くなりました。ここまで読
んでいただいて、ありがとうございました。
年末にかけて、多くの行事が計
画されています。身体に気をつけ
てがんばりましょう。

